



# 平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月13日

上場会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6835 URL <http://www.at-global.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 大嶋 章禎

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 増田 晴美

TEL 03-5437-6007

四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	13,142	△1.0	△463	—	△813	—	△892	—
29年12月期第2四半期	13,281	△5.1	△424	—	△761	—	△808	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 △976百万円 (—%) 29年12月期第2四半期 △871百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年12月期第2四半期	△8.15	—	—	—
29年12月期第2四半期	△7.41	—	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	21,497	—	3,527	—	—	15.2
29年12月期	20,992	—	4,476	—	—	20.0

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 3,263百万円 29年12月期 4,199百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

当社グループは、現在23か国に子会社を保有し事業を展開しています。そのため、昨今の為替相場の急激な変動や米政権の保護貿易による世界経済への影響などから、当社グループを取り巻く事業環境が短期的に大きく変動するリスクがあります。このため、当期の業績予想につきましては、現時点(平成30年8月13日)で合理的な算定が困難であるため、公表を行っておりません。なお、合理的な業績の予想が可能となった場合には、速やかに公表する予定です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	109,562,545 株	29年12月期	109,079,545 株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	171 株	29年12月期	152 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	109,435,547 株	29年12月期2Q	109,059,412 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当期の業績予想につきましては、現時点において未定としています。

(詳細は、[添付資料]P. 3「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年1月1日～平成30年6月30日）における当社グループを取り巻く環境は、為替相場における円高基調に加え、米国の保護主義政策や北朝鮮・中東を始めとする地政学的リスク、アジア新興国の景気減速による影響など、経済の先行きは不確実性を含んだ状況で推移しました。

このような事業環境の下、当社グループは、安定した収益確保と持続的な成長を目指し、市場の動向をいち早く捉えた新たな事業や製品、高付加価値サービスの開発に取り組みつつ、顧客志向のソリューション営業を強化してまいりました。とりわけ、IoT時代を迎えて注目度の高い「セキュリティ」と「ワイヤレス」というキーワードを軸として、国内外の大学との連携による新たな製品やサービスを拡充してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、第2四半期（4月～6月）の売上が主に日本、EMEAで堅調に推移し、第1四半期（1月～3月）の減少分を補った結果、売上高は前年同期比1.0%減の131億42百万円まで回復しました。

損益面では、営業体制の強化による人件費の増加などにより営業損失は4億63百万円（前年同期は4億24百万円の損失）、為替差損および支払手数料の計上などにより、経常損失は8億13百万円（前年同期は7億61百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8億92百万円（前年同期は8億8百万円の損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの所在地域別のセグメント売上高の概要は、次のとおりです。

#### 〔日本〕

日本では、第2四半期（4月～6月）において、製品市場別では主力製品であるxシリーズ・スイッチ製品群やネットワーク管理機能「AMF」ライセンスなどの売上が増加しました。顧客市場別では、医療・文教向けの売上が堅調に推移しました。しかしながら、第1四半期（1月～3月）の減少分までは補いきれず、売上高は前年同期比1.4%減の71億67百万円となりました。

#### 〔米州〕

米州では、米国において、SFPモジュール製品の売上が好調となったものの、xシリーズ・スイッチ製品群やキャリア向けシャーシ型スイッチ製品の販売が大きく減少しました。また、南米での営業拠点の集約化に伴い、中南米での売上が減少しました。この結果、米州全体での売上高は前年同期比14.7%減の24億71百万円となりました。

#### 〔EMEA（ヨーロッパ、中東及びアフリカ）〕

EMEAでは、営業体制を強化したドイツやイギリスで売上が堅調となりました。また、地方政府のネットワーク化案件が好調となったイタリアや、監視カメラソリューションやキャリア向けのネットワーク機器の販売が好調となった北欧で売上が増加しました。この結果、EMEA全体での売上高は前年同期比17.2%増の24億3百万円となりました。

#### 〔アジア・オセアニア〕

アジア・オセアニアでは、オーストラリアでは販売が減速したものの、アジア新興国では監視カメラソリューションが好調となりました。とりわけ、インフラ需要が高いインドでは中規模案件の増加により売上が堅調に推移し、医療機関向けのネットワーク化案件が好調となったマレーシアでは売上が回復しました。この結果、売上高は前年同期比3.3%増の11億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は214億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5百万円増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が6億55百万円減少した一方で、現金及び預金が4億33百万円、商品及び製品が2億52百万円、仕掛品が1億99百万円、原材料及び貯蔵品が1億45百万円増加したことによるものです。

(負債)

負債合計は179億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億53百万円増加となりました。流動負債は123億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億32百万円減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億47百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億84百万円増加した一方で、短期借入金が16億68百万円減少したことによるものです。また、固定負債は55億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億86百万円増加となりました。これは主に、長期借入金が23億89百万円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、35億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億48百万円減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が8億92百万円減少したことによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.8ポイント低下となる15.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、51億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億33百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億52百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ84百万円の支出増となりました。これは主に、仕入債務が増加した一方で、売上債権の減少額の減少及びたな卸資産が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億33百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ45百万円の支出増となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出の増加によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは9億4百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ13億5百万円の収入増となりました。これは主に、短期借入金の純減額、長期借入金の返済による支出が増加した一方で、長期借入れによる収入が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、現在23か国に子会社を保有し事業を展開しています。そのため、昨今の為替相場の急激な変動や米政権の保護貿易による世界経済への影響などから、当社グループを取り巻く事業環境が短期的に大きく変動するリスクがあります。このため、当期の業績予想につきましては、現時点(平成30年8月13日)で合理的な算定が困難であるため、公表を行っておりません。なお、合理的な業績の予想が可能となった場合には、速やかに公表する予定です。

配当につきましては、株主に対する利益還元を経営の重要な施策のひとつとして位置づけており、財務体質の強化と将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定した利益還元を継続的に行うことを基本方針としています。しかしながら、繰越利益剰余金が欠損状況にあり、財務基盤の安定を最優先とすることから、当期につきましては配当を見送る予定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,671,861	5,105,285
受取手形及び売掛金	5,478,573	4,823,160
商品及び製品	2,693,989	2,946,208
仕掛品	216,372	415,624
原材料及び貯蔵品	453,294	599,141
その他	1,293,577	1,545,680
貸倒引当金	△100,213	△97,911
流動資産合計	14,707,457	15,337,190
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,564,584	2,542,411
その他(純額)	1,524,760	1,445,684
有形固定資産合計	4,089,344	3,988,095
無形固定資産		
その他	77,549	71,767
無形固定資産合計	77,549	71,767
投資その他の資産		
その他	2,131,364	2,112,947
貸倒引当金	△13,111	△12,196
投資その他の資産合計	2,118,252	2,100,750
固定資産合計	6,285,146	6,160,613
資産合計	20,992,603	21,497,803
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,099,807	2,447,161
短期借入金	3,484,500	1,815,810
1年内返済予定の長期借入金	1,580,385	1,864,586
未払法人税等	267,950	189,212
賞与引当金	158,093	170,570
前受収益	3,695,048	3,843,009
その他	2,146,301	2,069,017
流動負債合計	13,432,087	12,399,368
固定負債		
長期借入金	1,880,809	4,270,706
退職給付に係る負債	655,381	641,540
その他	548,224	658,878
固定負債合計	3,084,414	5,571,125
負債合計	16,516,501	17,970,493

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,988,297	10,008,306
資本剰余金	168,583	188,591
利益剰余金	△6,158,167	△7,050,479
自己株式	△8	△8
株主資本合計	3,998,704	3,146,410
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	237,891	151,168
退職給付に係る調整累計額	△36,684	△33,836
その他の包括利益累計額合計	201,206	117,332
新株予約権	276,191	263,567
純資産合計	4,476,102	3,527,310
負債純資産合計	20,992,603	21,497,803

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	13,281,547	13,142,936
売上原価	4,997,246	4,830,282
売上総利益	8,284,301	8,312,653
販売費及び一般管理費	8,708,397	8,776,346
営業損失(△)	△424,096	△463,692
営業外収益		
受取利息	805	636
助成金収入	4,930	8,308
保険返戻金	6,399	6,399
その他	6,962	7,807
営業外収益合計	19,097	23,151
営業外費用		
支払利息	53,833	61,151
為替差損	214,422	175,097
支払手数料	85,000	135,000
その他	2,831	1,706
営業外費用合計	356,087	372,955
経常損失(△)	△761,086	△813,496
特別利益		
新株予約権戻入益	4,854	567
子会社清算益	-	66,540
特別利益合計	4,854	67,107
特別損失		
事業再編損	48,280	-
子会社清算損	-	5,901
特別損失合計	48,280	5,901
税金等調整前四半期純損失(△)	△804,512	△752,291
法人税、住民税及び事業税	136,582	164,049
法人税等調整額	△132,856	△24,029
法人税等合計	3,725	140,020
四半期純損失(△)	△808,238	△892,311
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△808,238	△892,311



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△808,238	△892,311
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△19,666	-
為替換算調整勘定	△40,655	△86,722
退職給付に係る調整額	△2,673	2,848
その他の包括利益合計	△62,994	△83,874
四半期包括利益	△871,232	△976,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△871,232	△976,185
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△804,512	△752,291
減価償却費	163,312	160,828
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21,809	△1,344
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,214	14,291
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,756	△12,199
受取利息及び受取配当金	△805	△636
支払利息	53,833	61,151
為替差損益(△は益)	306,606	141,190
助成金収入	△4,930	△8,308
保険返戻金	△6,399	△6,399
新株予約権戻入益	△4,854	△567
子会社清算損益(△は益)	-	△60,638
事業再編損	48,280	-
売上債権の増減額(△は増加)	1,163,496	609,134
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,655	△628,767
仕入債務の増減額(△は減少)	△714,028	378,086
前受収益の増減額(△は減少)	254,554	152,035
その他	△366,344	3,386
小計	66,512	48,953
利息及び配当金の受取額	805	636
利息の支払額	△58,143	△62,749
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△149,644	△240,104
助成金の受取額	4,930	8,308
保険返戻金の受取額	6,399	6,399
事業再編による支出	△38,974	△13,600
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△168,115</b>	<b>△252,157</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△112,195	△121,447
無形固定資産の取得による支出	△10,915	△24,494
その他	34,581	12,255
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△88,529</b>	<b>△133,685</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△35,000	△1,543,627
長期借入れによる収入	400,000	3,679,576
長期借入金の返済による支出	△754,286	△1,248,787
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	27,573
その他	△11,169	△10,156
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△400,456</b>	<b>904,577</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△189,928	△85,309
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△847,030</b>	<b>433,424</b>
現金及び現金同等物の期首残高	4,164,380	4,671,861
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>3,317,349</b>	<b>5,105,285</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	7,267,398	2,897,432	2,051,194	1,065,521	13,281,547	—	13,281,547
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	353,831	33,921	49,556	3,711,755	4,149,065	△4,149,065	—
計	7,621,229	2,931,354	2,100,751	4,777,277	17,430,613	△4,149,065	13,281,547
セグメント利益又は損失(△)	△618,992	182,935	△286,757	190,039	△532,775	108,678	△424,096

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去121,849千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等△13,171千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	7,167,009	2,471,684	2,403,378	1,100,863	13,142,936	—	13,142,936
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	405,568	17,689	12,139	3,503,419	3,938,817	△3,938,817	—
計	7,572,577	2,489,374	2,415,518	4,604,282	17,081,753	△3,938,817	13,142,936
セグメント利益又は損失(△)	△846,881	187,031	△126,245	186,291	△599,804	136,111	△463,692

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去124,009千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等12,102千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。